

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【公表番号】特表 2012-517736 (P2012-517736A)

【公表日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2012-030

【出願番号】特願 2011-549161 (P2011-549161)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 25 日 (2013.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオ・エンコーダにおいて画像の少なくとも部分に対する画像データを符号化する方法であって、

隣接テンプレート・データから前記部分に適用するイントラ・モードを導出することと

、
前記部分に対する前記イントラ・モードの信号伝達を明示的に中止することと、
を含み、

前記隣接テンプレート・データは、前記部分に対して隣接する画素から形成される隣接テンプレートに対応し、

前記部分に対する前記イントラ・モードは、利用可能なイントラ・モードのセットのサブセットをテストするために前記隣接テンプレート・データを使用して暗黙的に導出され、前記サブセット内の特定のイントラ・モードが、前記部分に対する前記イントラ・モードとして該サブセットの該イントラ・モードを使用して取得した予測値と復号された値との間の各歪測度のうちからの最小歪測度に基づいて選択され、該予測値と復号された値が該部分に対して候補隣接内の候補パッチに対応する、前記方法。

【請求項 2】

暗黙的イントラ・モード導出が、画像のブロックのサブセットに対して実行されるのに対して、明示的イントラ・モード信号伝達は前記画像の他のブロックに対して実行され、前記ブロックの前記サブセットは前記部分である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

画像の少なくとも部分に対する画像データを符号化するエンコーダを有する装置であって、

前記エンコーダは、隣接テンプレート・データから前記部分に適用するイントラ・モードを導出し、前記部分に対する前記イントラ・モードを信号伝達することを明示的に中止し、当該隣接テンプレート・データは、前記部分に対して隣接する画素から形成される隣接テンプレートに対応し、

前記部分に対する前記イントラ・モードは、利用可能なイントラ・モードのセットのサブセットをテストするために前記隣接テンプレート・データを使用して暗黙的に導出され、前記サブセット内の特定のイントラ・モードが、前記部分に対する前記イントラ・モー

ドとして該サブセットの該イントラ・モードを使用して取得した予測値と復号された値との間の各歪測度のうちからの最小歪測度に基づいて選択され、該予測値と復号された値が該部分に対して候補隣接内の候補パッチに対応する、前記装置。

【請求項 4】

暗黙的イントラ・モード導出が、画像のブロックのサブセットに対して実行されるのに対して、明示的イントラ・モード信号伝達は前記画像の他のブロックに対して実行され、前記ブロックの前記サブセットは前記部分である、請求項 3 記載の装置。

【請求項 5】

ビデオ・デコーダにおける画像の少なくとも部分に対する画像データを復号する方法であって、

画像の少なくとも部分に対する画像データを、前記部分に対するイントラ・モードのいかなる明示的な信号伝達も受信しない場合に、隣接テンプレート・データから前記部分に適用するイントラ・モードを導出することにより復号することを含み、

前記隣接テンプレート・データは、前記部分に対して隣接する画素から形成される隣接テンプレートに対応する、前記方法。

【請求項 6】

前記最小歪測度は、絶対差分の和または平均二乗誤差に基づいて決定される、請求項 1 または 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記サブセットは、隣接ブロックに使用されるイントラ・モードの関数に基づいて決定される、請求項 1 または 5 記載の方法。

【請求項 8】

前記部分に対する前記イントラ・モードは、前記隣接ブロックのイントラ・モードのインデックスの関数および前記隣接テンプレートのベスト・モードとしてさらに暗黙的に導出される、請求項 1 または 5 記載の方法。

【請求項 9】

前記隣接テンプレートの前記ベスト・モードは、前記隣接テンプレートに使用される複数のまたは全てのイントラ・モードをテストし、そして最小歪測度を与える所定のイントラ・モードを、前記隣接テンプレートに使用される前記複数のまたは全てのイントラ・モードの中から、前記隣接テンプレートに対する前記ベスト・モードとして、選択することにより決定される、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

前記関数は、メジアン関数である、請求項 8 記載の方法。

【請求項 11】

暗黙的イントラ・モード導出が、画像のブロックのサブセットに対して実行されるのに対して、明示的イントラ・モード導出は、前記画像の他のブロックに対して実行され、前記ブロックの前記サブセットは前記部分である、請求項 5 記載の方法。

【請求項 12】

画像の少なくとも部分に対する画像データを復号するデコーダを有する装置であって、前記デコーダは、前記部分に対するイントラ・モードのいかなる明示的な信号伝達も受信しない場合に、隣接テンプレート・データから前記部分に適用するイントラ・モードを導出し、当該隣接テンプレート・データは、前記部分に対して隣接する画素から形成される隣接テンプレートに対応する、装置。

【請求項 13】

暗黙的イントラ・モード導出が、画像のブロックのサブセットに対して実行されるのに対して、明示的イントラ・モード導出は、前記画像の他のブロックに対して実行され、前記ブロックの前記サブセットは前記部分である、請求項 12 記載の装置。

【請求項 14】

コンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、符号化された動画信号データを当該記憶媒体に有し、該動画信号データが画像の少なくとも部分に対する符号化された画像デー

タを含み、該画像データが、隣接テンプレート・データから前記部分へ適用されるイントラ・モードを導出することによって符号化され、前記隣接テンプレート・データは、前記部分に対して隣接する画素から形成された隣接テンプレートに対応し、前記符号化された画像データは、対応するデコーダに対して前記部分の前記イントラ・モードのいかなる明示的な信号伝達がなくても、当該デコーダによって前記部分に対する前記イントラ・モードの決定が可能ないように構成される、前記記憶媒体。